

尾木ママの学校訪問&トーク

可児市いじめ防止専門委員会特別顧問の尾木直樹さんが学校などを訪問し、児童・生徒の悩み相談や交流を通して児童・生徒と先生にエールを送りました。また、中学生以下の子の保護者を対象に、子育てトークライブを行いました。保護者からは「生成AIとの付き合い方を考えるきっかけとなった」、「子への向き合い方を学べた」などの声がありました。



災害時に電気の供給で支援

株式会社ホンダカーズ岐阜と電動車両などの支援に関する協定を締結しました。災害時に電動車両などを使用し、被災場所で電気を供給します。また、平常時は防災意識向上に関する取り組みで連携します。代表取締役社長の西谷隆志さんは「電動車両などの提供で市民の安心安全な暮らしにつなげたい」と話しました。

可児市と株式会社ホンダカーズ岐阜との
平常時並びに災害時における電動車両等の支援に関する協定締結式



美濃桃山陶 志野茶わんを寄贈

市内の陶芸家の堀俊郎さんから、昨年開催された大阪・関西万博のヨルダン館での茶会に使用された茶わんを寄贈していただきました。茶わんはヨルダンの砂や奈良県の薬師寺東塔の基壇の土、美濃の土を混ぜて作った特別仕様です。堀さんは「可児の魅力をPRする話題の一つになれば」と思い寄贈した」と話しました。

ゴルフで世界大会 3 位

市内在住の佐々木タ奈さん(東可児中 1 年)が、ジュニア日本代表選抜大会の12歳以下の部で2位となり、インドネシアで行われた世界大会で3位に入賞しました。また、他の日本代表選抜大会でも優勝し、アメリカで行われる世界大会の出場権を獲得しました。佐々木さんは「世界大会で距離感や芝が合わず悔しい結果になった。次は優勝したい」と話しました。



タイルで地域経済を活性化

可児市のTNプロダクト株式会社が、はばたく中小企業・小規模事業者300社に選ばれました。自社の窯で製造したタイルの輸出拡大により、地域・日本経済の成長に貢献が期待できるとして受賞しました。代表取締役の林敦司さんは「インテリアという魅力ある産業を通じ、地域活性化に貢献したい」と話しました。

ホッケーでアジア大会 2 位

市内在住の森達也さん(岐阜総合学園高 3 年)が、日本代表として出場したAHFホッケー男女U18アジアカップで2位に入賞しました。

森さんは「優勝できずとても悔しいが、世界と戦うという今までにない経験ができて良かった。たくさんの応援が力となって今回の結果につながった。今後も頑張っていきたい」と話しました。



ファイヤーナイフダンスで 2 位

市内在住の安江陸さん(広陵中 3 年)が、ファイヤーナイフダンスコンペティション(全国大会)のジュニア部門で2位に入賞しました。

安江さんは「本格的に競技を始めたのは小学3年から。本大会では、自分の実力と表現力を全て発揮できた。次のステップを目指し、今後も挑戦していきたい」と話しました。